

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 5 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】 特開 2004-3436 (P2004-3436A)
 【公開日】 平成 16 年 1 月 8 日 (2004.1.8)
 【年通号数】 公開・登録公報 2004-001
 【出願番号】 特願 2003-14777 (P2003-14777)
 【国際特許分類第 7 版】

F 0 2 G 1/053

F 2 5 B 9/14

【F I】

F 0 2 G 1/053 A

F 0 2 G 1/053 C

F 2 5 B 9/14 5 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作動媒体を封入したシリンダと、前記シリンダに摺動可能に内嵌して並設されるピストン及びディスプレーサとを備え、前記ピストン及び前記ディスプレーサの往復運動により前記シリンダ内に圧縮空間及び膨張空間を形成するスターリング機関において、前記ピストン及び前記ディスプレーサの一方または両方の外周面は加工精度の異なる第 1、第 2 外周面部から成ることを特徴とするスターリング機関。

【請求項 2】

作動媒体を封入したシリンダと、前記シリンダに摺動可能に内嵌して並設されるピストン及びディスプレーサとを備え、前記ピストン及び前記ディスプレーサの往復運動により前記シリンダ内に圧縮空間及び膨張空間を形成するスターリング機関において、前記ピストンは前記ディスプレーサに突設されたロッドを摺動可能に挿通する貫通孔が形成されるとともに、前記貫通孔の内周面は加工精度の異なる第 1、第 2 内周面部から成ることを特徴とするスターリング機関。

【請求項 3】

作動媒体を封入したシリンダと、前記シリンダに摺動可能に内嵌して並設されるピストン及びディスプレーサとを備え、前記ピストン及び前記ディスプレーサの往復運動によって前記ピストンに対向する前記ディスプレーサの一端側に圧縮空間を形成するとともに前記ディスプレーサの他端側に膨張空間を形成するスターリング機関において、前記ディスプレーサは材質及び外径の異なる第 1、第 2 部材から成ることを特徴とするスターリング機関。

【請求項 4】

膨張空間側に配される第 1 部材の熱伝導率が圧縮空間側に配される第 2 部材の熱伝導率よりも低いことを特徴とする請求項 3 に記載のスターリング機関。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれかに記載のスターリング機関を備えたことを特徴とする貯蔵庫。